

有朋自遠方来

今春の「辻が花と戦国の女性像展」では、徳川家康着用の辻が花衣服を多数所蔵する徳川美術館の多大な協力を得ました。同館は財団法人・徳川黎明会の運営になり、尾州徳川家に伝来した数多くの名品を収蔵し、積極的に活動している美術館としてよく知られています。

徳川黎明会理事・徳川義宣氏（写真）は家康公衣服に深い関心をもたれており、会期中、初公開の出陳品の調査、研究のため、たびたび来館されました。



季刊 美のたより No.18

昭和46年 9月1日

発行 大和文華館